

# 「第3期子ども大学はにゅう」を開催して

牛 込 彰 彦  
(こども学科 教授)

平成25年度、「羽生市学びあい夢プロジェクト」の一環として実施した「子ども大学はにゅう」について、その概要を報告する。

## 1. 趣旨

「羽生市学びあい夢プロジェクト」の一環として、子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会を提供することにより子どもたちの健全育成を図るため、県、関係機関が連携し、子ども大学はにゅうを開催する。

## 2. 主催及び関係協力諸機関等

主 催：子ども大学はにゅう実行委員会

協力組織：(学) 埼玉純真短期大学・羽生市教育委員会・埼玉県教育局

(社) 羽生青年会議所・羽生市青少年相談員協議会

(有) シガ工芸・(株) アロハガス

## 3. 実施方法

### (1) 募集対象および人数

小学校4年生から6年生・40名

### (2) 募集方法：

市広報で周知するほか、小学校を通じ対象学年全員に募集案内を配布

### (3) 申込方法：

子ども大学はにゅう参加申込書に必要事項を記入の上、羽生市教育委員会生涯学習課へ提出（郵送・FAX可）。定員を超えた場合は抽選。

### (4) 参加費：

1,000円（材料費・保険料）

### (5) その他：

子どもの送迎については、市内会場に限り保護者が責任を持って行う。

各回とも保護者の見学参加を可とする。

## 4. 学習プログラム

第1日 9月8日（土） 場所：埼玉純真短期大学

・入学式 学 長：藤田利久（埼玉純真短期大学学長）

副学長：小島敏之（羽生市教育委員会教育長）

委 員：牛込彰彦（埼玉純真短期大学教授）

講義Ⅰ：「コンピュータで何ができるかな ～世界でひとつの団扇をつくろう～」

小松和弘（埼玉純真短期大学講師）

第2日 10月19日（土） 場所：埼玉純真短期大学

講義Ⅱ：「角帽づくり」

羽生市青少年相談員協議会

講義Ⅲ：「ゆうき ～障がいのある人から学ぼう～」

伊藤道雄（子ども大学はにゅう実行委員長，埼玉純真短期大学教授）

講義Ⅳ：「みんなで歌おう！仲間とハモれば楽しいコーラス」

高野恵美（埼玉純真短期大学講師）

第3日 11月30日(土) 場所:埼玉純真短期大学

講義V:「水族館を裏から覗いてしくみを知ろう」

埼玉水族館の皆様

第4日 12月21日(土) 場所:埼玉純真短期大学

講義VI:「目指せ全国大会 フロアカーリング」

羽生市スポーツ推進員の皆様

講義VII:「学習のまとめ」

・修了式 副学長:小島敏之(羽生市教育委員会教育長)

委員長:伊藤道雄(埼玉純真短期大学教授)

## 5. 成果

子ども大学はにゅうも3年目を迎え、システムとして機能するに至った感がある。今年度は、全国的に見ても珍しい淡水魚を中心とする水族館である「埼玉水族館」の見学を講義の中に入れることが出来た。また、通常の見学ではなく、水族館のバックヤードから普段見ることの無い景色を見られるという幸運にも恵まれた。さらに、羽生に自生している「ムジナモ」を実際に見ることが出来たのも貴重な体験となった。その他、コンピュータを使った団扇作り、コーラス、障がいの疑似体験、フロアカーリングなど多彩のプログラムを構成することが出来た。

子ども大学はにゅうでの体験は、子どもたちの知的好奇心を刺激し何らかの形で将来においてプラスの形で表れてくるものと思われる。未来を担う子どもたちの一助になればとの思いで実施しているが、実を結ぶことを期待している。

3年目を終え、来期からは県の補助金もなくなり独り立ちの期となる。子どもたちへの思いをどのように具現化し貢献できるか、その真価が問われることとなる。来期に向け、趣旨を再確認し継続することとする。

## 参加した子ども及び保護者の感想(抜粋)

こども

- \* パソコンの使い方などいろいろなことが知れたので良かったです。友だちもできて、すごく楽しかったです。来年もきたいです。
- \* アイマスクを被る体験をしてとても勉強になり、ゆうきがいることを学びました。
- \* コーラスの授業でハーモニーをつくるのがとても楽しかったです。学校でハーモニーをつくる時きもがんばりたいです。
- \* 埼玉水族館では、外来種や希少種がいることの説明が分かりやすかったです。特に自分が飼っている魚は、逃がしたりせず大切に育てたいです。
- \* フロアカーリングでは、チームのみんなと協力して1位になって、とっても嬉しかったです。
- \* この子ども大学で、友達と恥ずかしがらずに接すること、友達を大切にすること、仲間と助け合うことを学びました。

保護者

- \* 4年生から、毎年楽しく参加させていただきました。参加させてもらって、積極性がついたように思います。良い体験をさせてもらい、ありがとうございました。
- \* 学校や家庭では、学習できないことを他の学校の子どもたちと学べる機会として、大変ありがたかったです。新しいことに不安を感じる子ですが、とても意欲的でした。来年も参加したいと言っています。今後ともよろしくお願ひします。